

## 原子炉利用者グループ幹事会 議事録

日時： 平成 30 年 10 月 15 (月) 12 時 10 分-12 時 50 分  
場所： 京都大学複合原子力科学研究所 図書棟会議室  
出席者： (福井大学) 福元謙一、(東京工業大学) 中村浩之、(早稲田大学) 海老原充、  
(東北大学) 永井康介、(京大複合原子力研) 鈴木実、杉山正明、木野村淳、  
藤井紀子、高宮幸一、齊藤毅、徐虬、櫻井良憲、田中浩基、  
川口昭夫(事務局補佐)、鶴田八千世(事務局)

### 配布資料

1. 選挙結果/前回議事録
2. 共同利用課題審査レフェリー候補者推薦リスト

### 議事

#### 1. 選挙について

- 選挙の開票結果

櫻井総務幹事より、選挙結果について報告があった。

- 次期運営委員会、共同利用研究委員会委員候補者の推薦

京都大学原子炉実験所運営委員会候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合せに基づいて、各専門分野(物理系、化学系、工学系及び生物・医学系)から、運営委員会委員に関しては得票数の多いもの1名ずつを、共同利用研究委員会委員に関しては得票数の多いもの2名ずつを候補者として推薦することとした。なお、共同利用研究委員会委員の生物・医学系については2位のものが同票で2名いたため、共同利用頻度等も考慮した。以下に推薦候補者を記す。

運営委員会委員：瓜谷章(物理系)、中村浩之(化学系)、高橋浩之(工学系)、松村明(生物・医学系)。

共同利用研究委員会委員：田崎誠司(物理系)、北口雅暁(物理系)、永澤秀子(化学系)、福島美智子(化学系)、田中憲一(工学系)、佐藤紘一(工学系)、川端信司(生物・医学系)、赤松憲(生物・医学系)。

- 次期幹事の選出

得票数の順に、所内14名、所外12名が幹事候補者として選出された。

以下に幹事候補者を記す。

所内：櫻井良憲、鈴木実、増永慎一郎、田中浩基、高宮幸一、堀順一、中島健、齊藤泰司、伊藤大介、杉山正明、近藤夏子、木野村淳、卞哲浩、日野正裕。

所外：渡辺賢一、藤井俊行、中村浩之、松村明、佐々木隆之、篠原厚、納富昭弘、大場洋次郎、千葉豪、大浦泰嗣、田崎誠司、芳原新也。

幹事会后、事務局の不手際により得票数順に整理する過程で候補者1名の見落としがあったことが判明した。大浦泰嗣候補(所外)を追記した。

## 2. 共同利用課題審査レフェリー候補者の推薦について

櫻井総務幹事より、これまでに推薦された共同利用課題審査レフェリー候補者に関して報告があった。

## 3. 新旧合同幹事会開催日の決定

平成31年1月28日（月）12時に開催されることが決定された。

## 4. その他

- ・ 高宮幹事より、共同利用のために提出する書類の電子化に関して検討を始めているが、所外利用者からの要望を聞きたい旨の発言があった。

これに関して永井幹事より、複数の書類に記入する同様の内容の記載事項を統合してほしいとの要望があった。また、中村幹事より、Web上の流れに従って処理をすれば書類の作成、提出が完了するようなシステムを構築してほしいとの要望があった。

- ・ 杉山幹事より、最近、共同利用研究の即時採択区分での申請が多く、審査・採択システムに大きな負荷がかかってきているので、即時採択区分での申請においては「緊急を要する研究に限り行うもの」であることを改めて認識いただきたいとの発言があった。

櫻井総務幹事より、この即時採択の申請要件を当グループのメーリングリストで周知徹底する旨の表明があった。

さらに、最適な年間の公募の回数に関して議論が行われた。

以上